

ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

目標は「速く、かっこよく、楽しく」

 東京・江東区立第四砂町小で走り方教室

①真剣に、でも楽しく走ろう ②「松岡コーチのジャンプ力、すごっ！」 ③竜澤コーチとバランス力の勝負をする子どもたち

東京都江東区の区立第四砂町小学校(太田智恵校長、児童541人)で9月19日、「走り方教室」が開かれました。

走り方教室は財団のソフト事業、教育応援隊のプログラムのひとつで、協力会社のミズノと共催しています。今回のコーチはミズノスポーツサービスの松岡遥介さんと竜澤舜さんです。学校を代表して、2年生と6年生が2時間ずつ授業を受け、走り方の4つのコツを学びました。

1～2時間目は2年生88人が校庭に集まりました。「目標は少しでも速く、かっこよく走れるようになること。何より大切なのは楽しむこと」という松岡コーチのあいさつで教室の始まりです。

コツを教わる前に、まずは1本走ります。約30m先のゴールラインで、竜澤コーチが大きな声で秒数を数えていま

す。今の自分がどれくらいの速さで走ることができるのかを知るためです。

「今走ったとき、どこを向いてた？」松岡コーチの最初の問いかけに、子どもたちは「前！」と元気よく答えることができました。悪い姿勢だと、足が十分に上がらなかったり、手を動かさずになったりします。1つ目のコツは、走る前に姿勢を直すことです。

2つ目のコツは、腕の振り方です。「腕を振るとスピードが出る。もし腕を振らなかったら、体のバランスを保てなくなってしまおうよ」と松岡コーチは説明しました。ひじの曲げ方の目安は90度。小さく前へならえをして、後ろに引くことを意識しながら素早く振ります。

3つ目は足の使い方。地球から力をもたせて、高くジャンプする感覚が大切。

バネになったイメージで、かかとはつかず、ひざを伸ばして跳びます。

4つ目のコツは、スタート。「位置について」でひざを曲げ、「よーい」で片足を下げて、笛の音をよく聞いて素早く反応する練習をしました。

最後の1本は、習ったことを思い出しながらか、1本目の自分との競争です。コツを教わる前と比べると、子どもたちは明らかに効率よく腕と足を動かせるようになっていました。

3～4時間目に授業を受けたのは6年生107人。3時間目は校庭で練習をしましたが、4時間目は熱中症予防のため、体育館に移動しました。スペースの限られた体育館では、その場でできる腕振りや、もも上げ、スタートを重点的に練習しました。10月に区立小学校の連

合運動会を控えている6年生のまなざしは真剣そのものでした。

教室を終えて、「みんなの笑顔を見られてよかった。これからも、走ることを楽しんでください」とあいさつをしたのは松岡コーチ。竜澤コーチは「1年後、2年後も練習を継続していくことで早く走れるようになる。今日の経験を生かして」と子どもたちにエールを送りました。

6年生のみんな、
連合運動会頑張っね!!



東日本大震災から12年、支援継続

 110校に総額600万円相当、3面に支援先リスト掲載

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、12年が過ぎました。経験したことのない大きな津波とそれに伴う原発事故にも見舞われ、月日は過ぎましたが、傷跡は癒えるどころか、新たな課題も生まれています。ベルマーク財団は2023年度も被災校への支援を継続します。今年度の支援総額は600万円相当。支援対象は、岩手・宮城・福島各県の小中学校110校です。

財団は7月から、各県の校長会に支援を求める学校のリストの提供をお願いしました。その結果、計110

校から要望がありました。今後、各学校と順次連絡をとり、支援をすすめます。

110校の内訳は、岩手県が小学校29、中学校22、宮城県が小学校10、中学校28、福島県が小学校10、中学校11。各県小中学校それぞれに計100万円相当を支援します。支援先のリストは、3面にあります。

財団では、震災発生直後から被災校にノートや鉛筆を送り、以来支援を継続してきました。その総額は5億円以上になります。支援の原資は、ベルマーク参加団体

から寄せられた友愛援助、全国から「被災校のために使って」と財団に送られてきた寄贈マーク、ウェブベルマーク協会からの支援、そして参加団体がふだんの活動で生み出している援助資金です。

ベルマーク運動は、参加団体がお買いものをする購入額の1割が自動的に財団に寄付されます。運動開始時は、全国のへき地校を支援する資金を生み出す仕組みでしたが、その後は災害被災校の支援にも資金を活用しています。